

群馬大学工業会東海連合支部

平成29年度総会・懇親会 報告書

I) 総会の部

東海連合支部の平成29年度総会・懇親会は、三浦（新）東海連合支部長のもとで、2017年11月12日（日）12時30分より、名古屋駅前M三ビル8F「京町しずく」において、久米原理事長様のご臨席を賜り盛大に開催された。前半の総会では、三浦連合支部長から三浦連合支部長・清水事務局長の新体制での会場選定の意義、本総会に若手会員の参加や新規参加の会員があるなど、変化点が紹介され、また、新企画として「先輩は語る」に期待して欲しいとの挨拶があった。続いて来賓挨拶として、久米原理事長様から、新理事長就任の使命と挨拶があり、大学と工業会の置かれている厳しい現況について説明があった。工業会の現況として、①組織の活性化②大学への支援、の方針で運営を考えており、4年後に100周年を迎え、盛大に取り組みたいので、会員の一層の協力をお願いしたい。記念館は工事を年内に完了し、来年4月オープンに向け進めており、来年の全国支部長会議は、オープンに合わせて一泊し、支部間の交流が図れる企画をしているなど予定時間を超過する熱のこもった挨拶を頂いた。新企画の「先輩は語る」は、大森眞一様（S31W）から「ガラス繊維」と題して、繊維産業の歴史から説き起こされ、製造方法、製品用途に関する栄枯盛衰について興味深い説明があった。持参されたガラス繊維の現物を会員に手渡して、ご高齢にもかかわらず予定時間を遥かにオーバーして熱心に語る姿は、得難い講演会となった。審議・報告事項は一括して採決し賛成多数で承認された。また、愛知支部秦氏（H04M）より弓道部も設立100周年の準備を進めており、名簿の整備をしているので協力をお願いしたいとの報告があった。総会終了後、全員で記念写真を撮影し、佐藤三重支部長、陰田幹事の司会で懇親会が開会した。梨本岐阜支部顧問（S29W）の乾杯の音頭により懇親の幕が切られて降ろされた。愛知支部秦氏の差し入れによる「水芭蕉」に遥かな母校に思いを馳せ、和やかに懇親を深めていった。一層盛り上がった頃、三浦連合支部長の音頭で「関東八州」を全員で歌い、愛知支部鶴岡氏（S44W）の「中締め」を行った。次回また会えるのを楽しみに散会した。

（文責 関口 輝夫（S48M））

II) 懇親会の部

開催日時： 2017年11月12日 13:25～15:25

開催場所： 京町しずく名古屋駅前店（M三ビル8F）

参加者： 29名（詳細別紙参照）

概要

ほぼ定刻通りに懇親会を開始した。

最初に出席者中最年長の梨本氏（岐阜支部 S29W）の音頭により乾杯し、懇親会を開始した。

暫くの懇談の後昨年度まで長きに亘り東海連合支部の運営にご苦勞頂いた前石川支部長と前森下事務局から挨拶を頂いた。その後、出席者中最も若い佐合貴広氏（H14M）と秦誠一氏（H04M）から総会の印象等を伺った。なお、このお二人とも新理事長久米原氏の直接の教え子でもあるとのこと。

歓談の後、三浦連合支部長の音頭で群馬大学工学部歌「関東八州」を全員で腕を組み合唱した。その後、鶴岡氏（S44M）の三三七の手拍子で中締めとした。

次回の再会を約束し、定刻通りに懇親会を終了した。

（文責 佐藤 佐（S39S））

